

新造船「クイーンコーラルクロス」乗船会報告

2021-11-23 池田良穂

新型コロナ禍でなかなか行事が開催できない時期が続きましたが、その猛威も一段落した機会に乗船会を企画しました。

団体会員のマリックスラインの新造船「クイーンコーラルクロス」が11月20日鹿児島発の便から就航する機会に、乗船するというもの。コースは2つにして、①鹿児島もしくは奄美から乗船して那覇まで航海するコースと、②那覇から「フェリー波之上」で与論島まで行き、そこから「クイーンコーラル・プラス」に乗船するコースとし、那覇に滞在していた筆者は那覇発着のコースで参加しました。

①コースには11名、②コースには7名の参加者があり、総勢18名となりました。

さて11月21日朝の6時半に那覇港のターミナルに到着するとマルエーフェリーの「フェリー波之上」が煌々と光を灯して荷役中でした。与論島までの2等の切符を購入して乗船。売店で販売していたおにぎりを買って朝食としました。船内では各行先ごとに2等室が割り当てられていましたが、昼間の航海なのでロビー等の椅子席で過ごすことにしました。レストランも営業時間以外は解放されており、外を眺めながらゆっくりと船旅を楽しめます。デッキも広くてなかなか快適な船旅となりそう。

朝日が射す中、いよいよ那覇港を出港して、東シナ海を沖縄本島に沿って北上し、9時に本部港に寄港。隣の岸壁には伊江島航路のフェリー「いえしま」が停泊しているの

が見えました。

乗客と荷物を積むと20分ほどで出港し、さらに北上して、沖縄本島の最北端の辺戸岬沖を通過すると、はるか前方に与論島の島影が見えてきました。同島は鹿児島県の最南端の島です。

11時50分には与論島の岸壁に着岸して、7人は下船。筆者らは、島のレストランで奄美名物の鶏飯の昼食を楽しんだ後、港に戻って「クイーンコーラルクロス」の入港を待ちました。各港で初入港のセレモニーがあったようで、20分ほど遅れて同船が与論島に到着。岸壁では、マリックスラインの岩男社長への花束贈呈などがありました。

いよいよ14時20分には「クイーンコーラルクロス」に乗船して、鹿児島や奄美から乗船した11名の会員および家族と合流。出港後、レストランをお借りして船上集会を開催しました。

最初に岩男社長によるマリックスラインおよび「クイーンコーラルクロス」建造のエピソード等の紹介がありました。

続いて、同船をデザインした直後に急逝されたデザイナー笠井統太氏のご家族への感謝状の贈呈がありました。

続いて、同船を建造された内海造船の加賀設計部長から、同船の技術的な特徴を紹介する講演が行われました。同社として初めて1機1軸のカーフェリーの建造だったので、いろいろと苦勞をされたとのことでした。

参加者全員のスピーチがあった後、散会し、それぞれ本部港入港までの航海を満喫しました。

本部港の岸壁では、たくさんの子供たちが沖縄舞踊で歓迎してくれました。

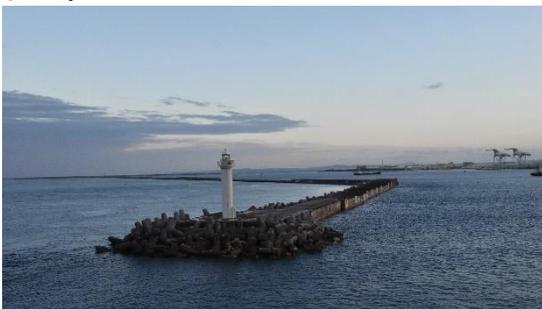
本部港を出港した後、ブリッジの見学をさせていただきました。みなさん、最新鋭の航海機器に興味深々のようでした。

船は、19時過ぎに那覇港に到着しました。

那覇港



まだ夜明け前の那覇港で「フェリー波之上」に乗船しました。



朝日が昇る頃、那覇港を出港しました。



船内レストランは、営業中以外は開放されていました。



那覇に向かうRORO貨物船「うりずん21」と反航し、伊江島たっちゅうを背景に撮影しました。



9時に本部港に着岸しました。同港ではゲンチングレーズと一緒にクルーズハブ港としての整備が始まっており、岸壁の延長が行われていました。



隣の岸壁には伊江島の村営フェリー「いえしま」が停泊していました。



本部港の周りには土砂運搬船がたくさん見えました。辺野古の埋め立てに用いられる土砂のようです。



出港すると、水納島から渡久地港へ向かう定期高速旅客船「ニューウイングみんな2」の姿が見えました。



11時50分に与論島に到着しました。防波堤のない岸壁だけの港です。



与論島の美しい海岸を見ることができました。



与論島で「フェリー波之上」から下船しました。2時間の島内観光が可能です。



14時20分頃、「クイーンコーラルクロス」が姿を現わし、与論島の岸壁に着岸しました。



島内のレストランで鶏飯で昼食を楽しみました。





船首デッキに積み込まれていたコンテナの積み下ろしがデリックで行われました。



船尾では、ランプウェイが下ろされて、フォークリフトでの荷役が始まりました。



与論島の岸壁では歓迎式典が行われ、マリックスラインの岩男社長に花束の贈呈がありました。



島民の方々に送られて「クイーンコーラルクロス」は沖縄に向けて出港しました。



出港後、レストランで学会の集会を開催しました。まず岩男社長による会社の紹介と、新船のコンセプトについての講演がありました。



続いて、「クイーンコーラルクロス」の船内デザインをされた故笠井さんのご遺族への感謝状の授与がありました。



内海造船の加賀設計部長による「クイーンコーラルクロス」の建造に関する説明がありました。



講演を聞く参加者



くつろげる空間が随所に用意されていました。



自動販売機もお洒落なデザインに



2層吹き抜けのロビーです。



本部港でも歓迎行事がありました



本部港を出港後、ブリッジを見学させていただきました。



夕闇が迫る中、ブリッジから見た船首甲板とデリックポストです。19時過ぎに那覇港に到着しました。



翌朝 7 時に那覇港を出港する「クイーンコーラルクロス」を見送りました。